

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド

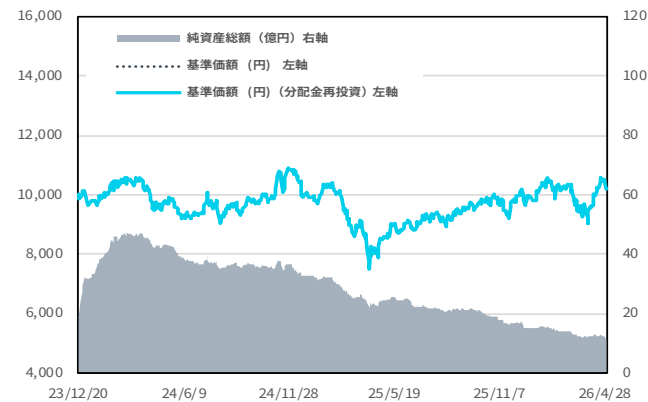
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



■Aコース（為替ヘッジあり）

基準価額	10,175円	設定日	2023年12月20日
純資産総額	11.4億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	12.53	-2.18	2.99	19.68	-	1.75

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1期 '24/4/25	第2期 '25/4/25	第3期 '26/4/27	累計
分配金	0円	0円	0円	0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。
 ※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。
 ※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。
 ※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Bコース（為替ヘッジなし）

基準価額	12,580円	設定日	2023年12月20日
純資産総額	325.4億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	12.96	2.88	8.87	39.24	-	25.80

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1期 '24/4/25	第2期 '25/4/25	第3期 '26/4/27	累計
分配金	0円	0円	0円	0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。
 ※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。
 ※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。
 ※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド
 Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
 追加型投信／海外／株式

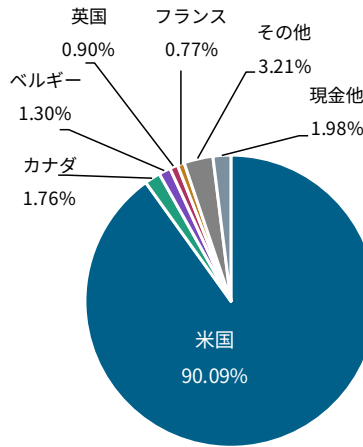


ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン株式マザーファンドの状況

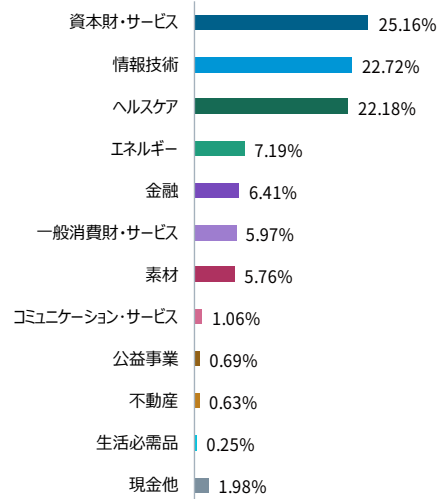
■資産配分

株式等	98.02%
現金他	1.98%
合計	100.00%

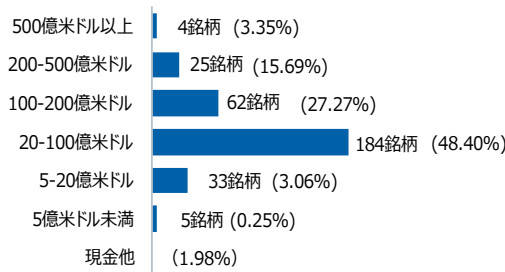
■国・地域別配分（上位5カ国）



■セクター配分



■時価総額別銘柄数（比率）



※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。

※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。

※現金他には、キャッシュのほか未収・未払金等を含んでおり、マイナスとなる場合もあります。

■組入上位10銘柄

（組入銘柄数：313銘柄）

	銘柄名	セクター	通貨	国・地域	構成比
1	ブルーム・エナジー	資本財・サービス	米ドル	米国	2.62%
2	ラティスセミコンダクター	情報技術	米ドル	米国	2.16%
3	Dutch Bros Inc	一般消費財・サービス	米ドル	米国	1.79%
4	サイトワン・ランドスケープ・サプライ	資本財・サービス	米ドル	米国	1.61%
5	テクニップFMC	エネルギー	米ドル	米国	1.45%
6	テレデザイン・テクノロジーズ	情報技術	米ドル	米国	1.36%
7	ファブリネット	情報技術	米ドル	米国	1.33%
8	ナテラ	ヘルスケア	米ドル	米国	1.33%
9	アルジェンX	ヘルスケア	米ドル	ベルギー	1.30%
10	ピアビ・ソリューションズ	情報技術	米ドル	米国	1.30%
				合計	16.26%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。

※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式



運用担当者のコメント

■市場概況

4月の米国小型グロース株式市場（ラッセル2000グロース指数）は堅調に推移し、大型株（S&P500指数）を上回る上昇となりました。

当月は、米国・イスラエルとイランとの軍事衝突を背景に、ホルムズ海峡周辺の海上輸送の混乱が引き続き意識されたものの、紛争終結に向けた外交上の進展が報じられる中で、投資家のリスク選好が急速に回復しました。また、3月の雇用統計が市場予想を上回り、米国経済の底堅さが改めて示されたほか、テクノロジー銘柄を中心に企業業績が総じて良好な内容となったことも追い風となりました。これらを背景に、株式市場は3月の下落分を取り戻したうえ、S&P500指数は最高値を更新する展開となりました。

ラッセル2000グロース指数の業種（世界産業分類基準（GICS）に基づく11セクター）別のパフォーマンスでは、すべてのセクターがプラス・リターンとなり、特に「情報技術」、「資本財・サービス」、「コミュニケーション・サービス」が相対上位となり、「ヘルスケア」や「生活必需品」、「一般消費財・サービス」が相対下位となりました。

*上記はすべてトータルリターン、米ドルベース

■運用概況

4月のファンドの騰落率は、Aコース（為替ヘッジあり）が+12.53%、Bコース（為替ヘッジなし）は+12.96%となりました。組入銘柄では、インスメッド（肺・呼吸器疾患向け治療薬を開発するバイオ医薬品メーカー）やサイトワン・ランドスケープ・サプライ（園芸用品の卸小売会社）が主なマイナス要因となりました。インスメッドは、気管支拡張症の治療薬として承認されているプレソソカチブについて、慢性炎症性皮膚疾患である化膿性汗腺炎への適応拡大を目指した治験で有効性目標を達成できなかったことが嫌気され、株価が下落しました。ただし当ファンドでは、同社について、プレソソカチブ以外にも、肺動脈性肺高血圧症向けのトレプロスチニルや、マイコバクテリウム・アビウム複合体（MAC）感染症治療薬のアリケイスなど、今後の成長を支える有望な開発品を有している点を前向きに評価しています。また、サイトワン・ランドスケープ・サプライは、第1四半期決算で売上高が市場予想を下回ったことが嫌気され、株価が下落しました。一方で当ファンドでは、同社が買収を通じて業界再編を主導できる優位な立場にあるとみているほか、シェア拡大に向けた自律成長施策や利益率改善への取り組みについても前向きに評価しています。

一方、ブルーム・エナジー（燃料電池発電装置メーカー）やアブライド・オプトエレクトロニクス（光ファイバー・ネットワーク製品メーカー）への組み入れはプラス要因となりました。ブルーム・エナジーは、AI向けデータセンターへの電力供給を巡ってオラクルとの提携拡大を公表したことに加え、市場予想を上回る決算で需要の大幅な加速が示されたことが好感され、株価が上昇しました。アブライド・オプトエレクトロニクスは、大手ハイパースケーラーからデータセンター向け光トランシーバーの大口受注を獲得したと発表したことを受けて、株価が上昇しました。当ファンドでは、AI処理の高度化による画像処理半導体（GPU）1基あたりに必要なコネクター数の増加を背景に、同社の成長余地は大きいと考えており、引き続き注目しています。

■今後の見通し

足元の市場環境は、例年になく不確実性が高い状況にあります。多くの市場参加者が、資産を長期保有を前提とした投資対象というより、短期的な値動きを狙う対象として捉えているように見受けられます。加えて、個人投資家など短期志向の投資主体が価格形成に与える影響も強まっており、市場をけん引する銘柄は目まぐるしく入れ替わっています。当ファンドでは、このような局面だからこそ、短期的な市場ローテーションに過度に振り回されるのではなく、長期的な視点を維持しながら、価格変動を投資機会として活用する姿勢が重要であると考えています。

また、現在のAIハードウェア投資サイクルは、1990年代後半のインターネット関連ハードウェアやインフラ整備の局面と似た動きをたどる可能性があると考えています。当時は、インフラ投資の初期段階で大型企業が先行して恩恵を受けましたが、その後、アプリケーションの普及が進むにつれて主役が広がり、小型株が長期にわたり優位なパフォーマンスを示しました。今回も、これまでのAIハードウェア投資局面では大型株の恩恵が相対的に大きかった一方、今後AI活用がアプリケーション段階へ進展すれば、小型株にとっても投資機会が大きく広がり、新たな高成長企業が生まれる可能性があると考えています。

当ファンドでは、マクロ経済や地政学リスクには引き続き注意を払いつつ、インフレの恩恵を受けやすいエネルギー・素材関連企業と、AI関連企業の双方に投資するバーベル型のポートフォリオを構築しています。相場全体の方向性を予測するトップダウンの見方に偏るのではなく、個別企業のファンダメンタルズや長期的な成長可能性を重視する姿勢を維持しています。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式



ファンドの特色

1

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、原則として、米国の小型株式の中で、成長性が高いと判断される企業の株式等に投資を行います*。なお、米国以外の企業の株式等にも投資する場合があります。

*当初ポートフォリオ構築時および小型株式が中型・大型株式へ成長したことにより継続保有する場合等には、中型・大型株式が組入れられることがあります。

2

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ*1」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス*2のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

*1 ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

*2 委託会社およびその関連会社をいいます。

3

Aコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記のような運用ができない場合があります。

※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク（ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。）は以下の通りです。

株価変動リスク

当ファンドは、米国の株式を主要な投資対象としますので、その基準価額は、株式（米国預託証券（ADR）等を含みます。）の値動きにより、大きく変動することがあります。株価は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

小型株投資リスク

当ファンドは、小型株式を投資対象としますが、時価総額が小さい企業の株式は、大規模企業の株式に比べ価格の変動性（ボラティリティ）が高い傾向があります。こうした企業は、十分な資金を確保できない、業歴が短い、事業内容が多様ではないなどの理由から事業後退のリスクが高くなる可能性があり、ファンドの基準価額に影響します。

為替変動リスク

Aコースは、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。

Bコースは、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



お申込みメモ

購入時		換金時		申込について		その他	
購入単位	一般コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 ※購入後のコース変更はできません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※販売会社によっては上記と異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。	信託期間	原則として無期限(設定日:2023年12月20日)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、1日1件10億円を超える換金はできません。また、委託会社の判断により、別途制限を設ける場合があります。	繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・各ファンドについて受益権口数が50億口を下回るようになった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・信託契約を解約することに正当な理由がある場合
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。	購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、お申込みの受付は行いません。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。 なお、主要投資対象市場の規模・流動性等を勘案し、購入のお申込みの受付を制限することがあります。	決算日	毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)
						収益分配	年1回の決算時に、分配方針に基づいて分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
						信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
						公告	公告を行う場合は日本経済新聞に掲載します。
						運用報告書	毎年4月の決算時および償還時に、期中の運用経過などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に対して提供・交付します。
						スイッチング	AコースとBコースの間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、通常の換金時と同様に税金がかかります。
						課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。一定の要件を満たした公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。当ファンドはNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	購入金額(購入申込日の翌営業日の基準価額×購入口数)に対し、以下の手数料率を乗じた額とします。	運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年1.738%(税抜1.58%) の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	購入代金	手数料率	信託事務の諸費用等
	1億円未満	3.30%(税抜3.0%)	
	1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.5%)	
5億円以上	0.55%(税抜0.5%)	その他の費用・手数料	法定書類等の作成等に要する費用(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用)、監査費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%(税抜0.1%)を上限とする額が毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
信託財産留保額	ありません。	売買委託手数料等	組入る有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、ファンドから支払われます。 ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替変動リスクもあります)を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式



収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客様用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等を対象としているため、投資元本を割り込み損失が生じることがあります。ご購入の際は販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。

投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

個別銘柄につき、売買を推奨するものではありません。

当資料内で表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。

著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」、大角羊（ビッグホーン・シープ）のデザイン等（troweprice.com/ip参照）は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。ティー・ロウ・プライスと商標所有者との承認、出資、提携を示唆するものではありません。当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。

当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。

世界産業分類基準（「GICS」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「MSCI」）およびマグロウヒル・カンパニー傘下のスタンダード・アンド・プアーズ（「S&P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その独創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

詳しくは、契約締結前交付書面および投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

受託会社：野村信託銀行株式会社

NOMURA

野村証券

商号等：野村証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会／
一般社団法人日本STO協会

設定・運用は



T.RowePrice

商号等：ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会お申込み・
投資信託説明書
（交付目論見書）の
ご請求は